



233

小学校高学年 （高校生向け） 年組

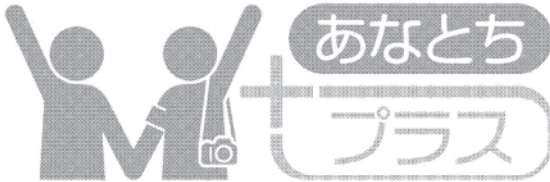
3年連続で犬猫の殺処分ゼロ達成

宇都宮市公式サイトの市保健所の譲渡動物情報に目が留まった。「猫、愛称ポテト。保健所を悪の組織と誤解しているようで渾身のシャーを連発。彼を救い出すヒーローをお待ちしています」。ユーモラスに譲渡をPRする市は昨年度、3年連続で犬猫の殺処分ゼロを達成した。2006年度には殺処分数が1214頭に上った市が、ゼロ達成へどう取り組んできたのか探った。

（増田明子）

宇都宮

市の殺処分数は07年度まで年間千頭を超えていたが、個人や団体への譲渡などが奏功し、14年度には249頭に減少した。さらに18年度、県獣医師会の協力で「ミルクボランティア」がスタート。それまで殺処分の対象だった授乳期の子猫を、自力で食事や排泄ができるまで育てて譲渡を可能にする事業で、昨年度は26頭が命をつないだ。



59

民間連携の取り組み奏功



ミルクボランティアで授乳期の子猫の世話をするいなみ動物病院のスタッフ

要。夜間は夫婦で対応している」と説明する。ほかに民間と連携した譲渡の拡大や、飼い主から

の引き取りの厳格化も大きな力になったという。昨年度40頭の譲渡を橋渡しした保護活動家の新里町、川嶋久美子さん（45）は、「交流サイト（SNS）を活用し、譲渡拡大につなげている」と話す。市保健所も22年7月にインスタグラムを開設。今ではフォロワーが2700人を超えた。動画や親しみある文章で情報を発信。市生活衛生課の担当者は「インスタを見て譲り受けを希望する人も多い」という。22年に開設された竹林町の市動物愛護センター「宮わんにゃんパーク」の役割も大きい。清潔感ある施設は希望者が見学しやすく、動物と触れ合うスペースも備える。「保健所＝殺処分」のイメージはない。「10年前は収容頭数も多く、殺処分ゼロすら想像できなかった」と担当。殺処分ゼロは、民間の力と市のさまざまな取り組みで生み出された結果だった。

設問

【1】宇都宮市が昨年度3年連続で達成したことは何ですか。記事をよく読んで、答えましょう。

【2】2006年度の殺処分数は何頭でしたか？

【3】2014年度、249頭に減少するまでに行われた取

り組みにはどのようなものがありますか。

【4】「ミルクボランティア」とはどういった事業ですか。

【5】宇都宮市保健所がSNSで情報発信する際に工夫していることはどんなことですか。